

全国初の高校生による遊覧船ガイド育成 虻田高生エスポワールで実習

遊 遊覧船ガイドとして地域を紹介する取り組みを行っている虻田高校が、6月25日、洞爺湖汽船の遊覧船「エスポワール」に生徒23人が乗船し、実地研修を行いました。同校と北海道運輸局との連携で、全国初の試みです。

このプロジェクトは、学校設定科目「地域ビジネス」授業の一環として、洞爺湖観光の現状と課題について学習するものです。虻田高校では、洞爺湖温泉を訪れる同世代の修学旅行生に対し、今秋にも遊覧船ガイドの実践を計画しています。



洞爺湖汽船社長の大西英生さん(右)から説明を受ける虻高生

洞 洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会の通常総会が、7月2日、役場防災



鳥獣被害防止対策を論議する同会員の皆さん

研修センターで開かれました。

総会では、平成27年度の事業計画案と予算を審議。エゾシカ駆除などの個体数調整活動として、洞爺湖町有害鳥獣駆除連絡協議会員との協力体制を継続し、今年初めて導入する暗視スコープを活用した捕獲の実証試験などを実施していくことを決めました。

平成26年度の有害鳥獣による農作物の被害は、小豆、てん菜、スイートコーンなど5.3㍏、約644万円に上っていて、今年度も被害を最小限に食い止めていくことを確認しました。

**洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会通常総会開催
暗視スコープでの捕獲実証試験を実施**

7月5日、馬頭観世音慰霊祭（同観世音保存協賛会主催）が、大磯と歴史公園内の馬頭観世音碑前で行われました。



往年の愛馬を偲ぶ参列者の皆さん

同公園で催された式典には、保存協賛会の会員や元馬主、農協関係者ら約20人が参列。一人ひとりが焼香を行い、活躍してくれた愛馬の往年を偲びました。

今年は、今まで看板がなかったお堂に「入江馬頭観音堂」と書かれた看板が設置されました。材料は杉上義弘さんが提供しました。

愛馬の往年を偲ぶ 馬頭観世音慰霊祭

豊 浦町児童との合同少年野球チーム豊浦シーガールズのメンバーが、7月7日役場を訪問し、真屋町長に全道大会出場と大会での健闘を誓いました。

同チームは、5月23日、24日両日伊達市で開催された高門宮腸杯第35回全日本軟式野球西胆振大会兼全道少年軟式野球西胆振大会で準優勝。札幌市つどーむで行われる全道大会に出場を決めました。

真屋町長は、「応援していますので、頑張ってください」とメンバーを激励。主将の大西浩生君（とうや小6年）が「一戦一戦悔いのないように闘ってきます」と力強く応えました。



職員を前に健闘を誓うメンバー

**豊浦シーガールズ真屋町長に準優勝を報告
全道大会での活躍を誓う**

まちのわだい

